

あうみネット



BIWA CHAN

淡海の市民活動・ネットワーク情報交流誌
Collaboration Paper for Voluntary Network in Ohmi

●発行日 / 2010年7月1日 ●発行所 / (財) 淡海文化振興財団

No.

74

2010年 夏号

「市民活動びわ湖フォーラム in 大津」交流会

滋賀県の市民活動の更なる成長発展を願って交流の場をつくります。市民活動に関心のある皆さんの「新しい出会い」「交流のきっかけ」「協働の場」になるよう多くの県民・市民のご参加をお待ちしています。

日時●7月中旬以降～11月末まで(15交流会)

会場●大津市内 近江八幡市内 彦根市内

参加費●実費程度(交流会により不同)

定員●30名～500名(交流会により不同)

(詳細はホームページへ)

連絡先●実行委員会(大津市市民活動センター内)

TEL : 077-527-8661 URL : <http://otsu-npovol.jp/>

E-mail : center@otsu-npovol.jp



BIWAKO ビエンナーレ2010 "玉手箱-Magical World"

空き町家や元工場などが会場となり、40組を超えるアーティストが作品展示する「BIWAKO ビエンナーレ2010」。今回で4度目の開催を迎えます。地図を片手に会場を巡り、近江八幡の町並みも存分に味わって下さい!!



日時●9月18日(土)～11月7日(日)火曜休

会場●滋賀県近江八幡市(旧市街地一帯)

参加費●一般¥1000/学生¥800/小学生以下無料

連絡先●NPO法人エナジーフィールド

TEL・FAX : 0748-26-4398

(詳細はホームページへ)

URL:<http://www.energyfield.org/>

特集●淡海とびっくす ②

インターネットを使って、
もっと市民活動を広げよう!

■NPO サポートポケット ①

ITと出会おう

■市民団体活動紹介のわっ ⑤

●特定非営利活動法人 元気な仲間

●SHIPS・多文化共生支援センター

●特定非営利活動法人 環境と農業の融合を考える会「鹿深の杜」

■あうみネット★INFORMATION ⑦

運営委員 VOICE

「人との出会いが始まり」

澤田龍治（社団法人 びわ湖高島観光協会 事務局長）



自分のやってきたことが、市民活動なのか、まちづくりなのか、または地域おこしなのかは、ハッキリ言ってわかりません。

観光協会という仕事から、多くの人に出会います。そしていろいろな仕事やイベントの参加者の皆さんとの出会いもたくさんあります。市民活動は、と考えると、それは人との出会いを何かの形にしたところから、しようとした時から始まっているのではないかと…

そうしたことからすると、この仕事に就いたときから市民活動に出会っていたのかもしれない。

私の高島市内にも、多くの活動グループがあり、日々いろいろな集まりや催しがありますので、一人でも多くの人との出会いを期待して、出来るだけ参加させてもらうようにしています。

※運営委員は、市民の意見を当財団の運営に反映するため、公募も取り入れた委員を設置しています。

おうみ未来塾 リレーエッセイ

Ohmi Miraijyuku Relay Essay

おうみ未来塾で得た ご縁という宝物

9期生 久保田直子
グループ：しゃくなげ学校未来塾



中山間地の活性化、農山村と都市の連携コーディネートに関心があり、一緒に取り組める仲間と出会いたくて入塾しましたが、テーマとしては、あまりにハードルが高すぎました(笑)。結局、塾生ではなく友人たちと一緒に「雑穀の地産地消を考える会」を発足。海外生産に依存している「雑穀」の地産地消運動をきっかけに、農村と都市をつなぐ活動を消費者・農業者などの立場を超えて一緒に行っています。心強いと感じているのは、会の内外を問わず頼れる同期生や卒業生がたくさんいて下さること。いつも支えてもらっています。おうみ未来塾で得た「ご縁」は、お金では買えない宝物。支えてもらうばかりでなく、早く支える側に回りたいものです。

※おうみ未来塾は、地域の課題解決を実践する「地域プロデューサー」が育つ塾です。

●NPOさぼーとぼけっと●

あなたのNPO活動をサポートする情報をお届けします。

NPO SUPPORT POCKET

IT と 出会おう

今回から、4回にかけてNPOに役立つITシリーズがはじまります。まずは、NPOにとってのITの必要性や、ITと出会うきっかけについて、シニアのIT力を活かしてまちづくりをされているNPO法人湖南ネットしがの齋藤富士夫さんにご紹介していただきます。

■こんなに便利なインターネット。

NPOや市民活動団体では多くの人に活動を知ってもらい、活動や行事に参加してもらえる手段をいろいろと考えていると思います。その一つにインターネットを使って情報を発信する方法があります。インターネット接続のパソコンから電子メールを使えば、封筒や切手なしで多くの人に情報を伝達することができます。ホームページやブログに情報を掲載することで、活動に興味のある人が、その情報を見に来てくれます。

■こんなに簡単インターネット

インターネットを使うのは難しいと思いませんか。電子メールは少し使い方を習えば簡単に使えるようになります。ホームページやブログの作成も、専門的知識が無くても簡単に作れるようになっています。無料でホームページやブログサービスを提供しているところもあります。最近話題のミニブログ「ツイッター」で手軽に活動をつぶやく、きっと新しい型のコミュニケーションが生まれます。ブログ作成講座やIT講習会などに参加して使い方を習うのも良いでしょう。

■大切なのはセキュリティ対策

インターネットを使う上で大切なのはセキュリティ対策です。パソコンにはセキュリティ対策ソフトを導入し、そのセキュリティ対策ソフトやパソコン基本ソフトの更新を適度に行うこと。そして外からの侵入を防ぐファイアウォール(防火壁)対策を行うことが大切です。そうすればインターネットを安心して使えます。

携帯電話やパソコンは身近な道具となりました。この道具をうまく使うことで、インターネットを介しているいろいろな人と知り合うことができる楽しみがあり、活動の輪が広がります。(NPO法人 湖南ネットしが 理事長 齋藤富士夫)

◇ITをはじめやすくする一部のWEBサイトや講座

- ・無料メール利用、ホームページ作成
YahooJAPAN <http://www.yahoo.co.jp/> Google 日本 <http://www.google.co.jp/>
- ・無料ブログ作成
滋賀咲くblog <http://shiga-saku.net/> Twitter(ツイッター) <http://twitter.com/>
- ・滋賀県内市民向けIT講座
近江八幡市立マルチメディアセンター 市民IT大学
<http://multimediacenter.jp/index.htm>
NPO法人湖南ネットしが ばそこん塾
<http://www.konan-net-shiga.jp/index.html>

岡部一明さん ●プロフィール●

愛知東邦大学経営学部教授。NPO論や自治体論、市民社会のガバナンスについて研究。1950年栃木県生まれ。1979年カリフォルニア大学自然資源保全科卒業後、日本で環境シンクタンク勤務、フリージャーナリスト、日米のNPO勤務など経験。1992年サンフランシスコに移り、インターネット市民革命を身近で体験・取材。2001年4月より愛知東邦大学でNPO論、インターネット社会論などを教え、2009年4月より現職。



インターネットを使って、もっと市民活動を広げよう！

インターネットの全国の普及率は、2010年には74.6%となり、市民活動をする上でもインターネットを使って、広く情報を探し、手に入れ、活用する時代になったと言えます。

今や生活には欠かせないインターネットがどんなところから市民活動や私たちの生活に利用され、コミュニケーションを変えてきたのか、市民活動を広げる上でどんな可能性があるのか、インターネットと市民活動の関係性に詳しい、愛知東邦大学経営学部の岡部一明さんにお話をお聞きました。



岡部さんはアメリカでインターネットと市民活動の広がりを目の当たりにされた経験から、一九八六年に『パソコン市民ネットワーク』(技術と人間)を出版され、日本の市民活動に大きな刺激を与えられた。アメリカのインターネットはどんなきっかけで広がってきたのですか？



一九八〇年代中頃からアメリカでは、むしろ市民運動をする人々がインターネットを率先して使ってきた歴史があります。環境運動のエコネット、平和運動のピースネット、ザ・ウェルなどがありました。当時は一つのネット内部でしか通信できないサービスが主流だったんですが、こうした市民運動ネットがインターネットにつながったメール・サービスをはじめ、情報の共有を一挙に拡大したのです。商業プロバイダーが出てきてインターネットが一般に普及するのは一九九〇年代半ばですから、アメリカの市民ネットはかなり先進的だったと思います。

一般に使われる前にインターネットが市民活動の現場で使われていたのですね。知りませんでした！インターネットの利用が広がり、市民のコミュニケーションにどんな変化がありましたか？



インターネットは、ウェブページやブログを通じて誰でも世界中へ発信できます。マスメディアに比べて、情報発信力の弱い個人や市民活動に力を与えてくれるツールになり、世界が市民によって変えられるんじゃないかと興奮しました。市民がマスメディアに頼らない、自分たちのメディアを持ったと言っても過言ではないでしょう。多くの情報を伝える新聞やテレビなどマスメディアでは、個人や市民活動について報道する機会に限られています。また市民が伝える手段はミニコミ誌的なものが主流でした。そこからいきなり世界へつながるのですから、市民のコミュニケーション能力は確実に高まりました。特に、国際的なNGO間での活用が広がり、情報共有が飛躍的に進みました。

さらにインターネットは一方的な発信ではなく、情報を受信した者が発信者にもなります。例えば、ウィキペディアは、ウェブサイトを見た人が新しい情報を書き込むことができ、みんながつくる百科事典としての機能を拡大しています。多数の市民が意見を出し情報を発信することで、民主主義の在り方も大きく変える可能性があります。



インターネットの利用で、市民活動ではどんな可能性が広がりますか？



インターネットの活用で、特定の関心を持つ人々が自由につながり、新しい活動を生み出す可能性があります。自由なネットワークが広がって、横へも縦へも広がっていく。そんなインターネットの特性を理解して、積極的に日々取り組む活動を情報発信することで、活動を理解し、動き出す人が増え、社会が変わっていくという期待感があります。

もちろんネットには様々な弊害もあって、その点も注意する必要があります。印刷メディアだってあまりそれにばかりふけて「青いインテリ」になっていくとか、それなりの付き合い方を私たちは学んできたわけですが、ネット時代にも適切な付き合い方を見つける必要があります。インターネットでもまずはメールの利用が基本です。メーリングリストで会員に活動報告を伝えること、会議に利用することで、メンバーの情報共有が進み、活動の広がりや展開も期待できます。しかし、メールだけのやりとりでは誤解も生じやすいので、利用の際にはマナーを守り、実際に会って話すことも大切になってきます。顔の見える関係の中で、補助的に使うのがより効果的ですね。

※ウィキペディアとは、インターネット利用者が誰でも自由に編集に参加できるオンライン百科事典。世界各国で多言語でも編集されている。

■県内で IT 講座を提供している

近江八幡市立マルチメディアセンター(指定管理者CM2グループ)

<http://multimediacenter.jp/>



全ての市民がITの恩恵を享受でき、ITで地域が元気になる地域社会づくりをめざして、ソーシャルメディア活用・情報デザイン・映像など市民活動に欠かせないスキルを幅広く

習得できる各種IT講座、超初心者でも安心して学べるPC教室、障がい者のIT活用支援のほか、PC研修室の貸出、PC無料相談、PCメンテナンス、ネットカフェなどの事業を実施しています。近江八幡市外の方もご利用いただけます。

■ DATA

〒523-0892 滋賀県近江八幡市出町645-4
TEL : 0748-31-0800 FAX : 0748-31-0801 E-mail : mmc@multimediacenter.jp

NPO 法人湖南ネットしが

<http://www.konan-net-shiga.jp/>



幼児教育支援(キッズスマート)から個別指導のパソコン塾、ITに関する知識・技能を身につける職業訓練校、青少年のためのネット安全教育と幅広く活動している元気なITリーダー集団です。誰もが情報化社会の中で、インターネットなどを活用して必要な情報を安全に手に入れ、活用できる社会のために活動しています。

■ DATA

〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺330-548
TEL : 0748-75-2500 E-mail : office@konan-net.org

■滋賀県の情報化を進める

滋賀県地域情報化推進会議

<http://shiganet.shiga-ig.jp/>

滋賀県と各市町、情報化推進に関心のある個人や事業者が会員となり、先端技術についてのセミナーから一般向けの講座などの開催を通じて県内の情報化を進めています。昨年初めて、安全・安心で豊かな地域社会を築くことに貢献する優れたウェブサイトを表彰する「滋賀Web大賞2010」を実施。ウェブコンテンツの充実、ITの利活用の促進および滋賀の魅力ある情報発信力を高めることを目指しています。

■ DATA

滋賀県情報政策課内
〒520-8577 大津市京町4丁目1-1 TEL : 077-528-3382 FAX : 077-528-4839

★滋賀Web大賞2010「地域活動団体部門」受賞団体の紹介です。ウェブサイトを見てね！

最優秀賞

kikito湖東地域材循環システム協議会
<http://www.kikito.jp>

森林所有者や製材業者、木製品加工業者、家づくり団体、設計士、木質エネルギー事業者、市民団体、行政等が構成員となり、得意分野を活かしつつ、地域の活性化につながる事業展開を行っています。

優秀賞

輪の国びわ湖推進協議会
<http://www.biwako1.jp/>

びわ湖一周サイクリング認定証やスポーツバイクのレンタルを契機に、自転車生活の素晴らしさを体験し、気づき、理解し、そして自転車生活を取り入れる人が増えることで、滋賀がヘルシー&エコロジーな「輪の国」になることを目指しています。

優優秀賞

NPO 法人 やまんばんの会
<http://yamanbankai.p1.bindsite.jp/>

里山に新しい価値を見出し、楽しみながら里山を暮らしに活かすことが、この森を蘇らせ、多様な生物が住む環境を守ることになります。それを次の世代に伝えていきたいと活動しています。

■公益活動のコミュニティサイト

日本財団公益コミュニティサイトCANPAN(カンパン)

<https://canpan.info/>

公益活動に携わるすべての人・興味のある人のための公益コミュニティサイトです。企業が行っているCSR活動を含め、公益に関する様々な情報の投稿や参照、ブログの開設、メールマガジンの購読への参加などができます。誰でもユーザーになることができ、ここから情報発信することで、様々な分野の活動団体や個人、企業との出会いが広がります。



■ DATA

日本財団CANPAN運営事務局
〒105-0001
東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル8階
TEL : 03-6229-5551 FAX : 03-6229-5551
E-mail : contactn.info (9-17時まで 土日祝祭日を除く)

特集●淡海とびっくす

ホームページやブログなどで団体の情報を発信することは、人や団体とつながり、活動がもっと広がる可能性がありますね。活動への参加者を増やすためにも、協力者や寄付などを集めるためにも、インターネットでの情報発信は重要です。「まずはパソコンが必要なんです」という方も、「もっと多くの市民活動団体と情報発信を通じ交流したい」という方にも、さまざまな方法で市民の情報発信を支援している団体などをご紹介します。



■パソコンなどの寄贈をしている団体

NPO法人イー・エルダー

<http://www.e-elder.jp/>

ITの専門知識を持つ、中・高齢者がより良い社会の実現のために、非営利団体の活性化や高齢者・障がい者などの社会参加支援を目的に永年にわたって培ってきた知恵と知識と技術を活用しています。中古PCの再生



作業を障害者施設などに委託して、再生したリユースPCをNPOやボランティア団体へ寄贈、Webアクセスビリティ支援事業をとおして在宅障がい者の就労支援、シニアへの携帯電話講習会、小中学校の保護者のネット安心講座など、全国各地で推進しています。

※Webアクセスビリティとは、障がいのある人や高齢者を含めた誰もがホームページなどのWebサイトが提供する情報を容易に入手できるようにすること。

■DATA

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-15-3 プリメーラ道玄坂309
TEL: 03-5728-3571 FAX: 03-5728-3572
E-mail: office@e-elder.jp

認定NPO法人イーパーツ

<http://www.eparts-jp.org/>

企業からのリユースPC、新古品のカラーレーザープリンタやシュレッターを非営利団体へ寄贈し市民活動の情報化を進めています。同時にPC再生DAYを障がい者の方々と各地で開催し“地域でPCを直して地域で使おう”プロジェクトを実施、リユースPCで繋がる人の輪を目指しています。また、IT企業と協働し市民活動団体の情報セキュリティの推進も行っております。



■DATA

〒154-0024
東京都世田谷区三軒茶や2-55-8 パレグレイス501
TEL: 03-5481-7369 (平日13時～18時)
FAX: 03-6805-2728
E-mail: info@eparts-jp.org

■ソフトウェアの寄贈仲介を行っている

TechSoup Japan (テックスープ・ジャパン)

<http://www.techsoupjapan.org/>

社会問題の解決のために活動する民間の非営利団体が最大限の力を発揮できるよう、ソフトウェアを提供するほか、ITのサポートを行います。

特定非営利活動法人、公益法人(公益社団法人、公益財団法人、特例民法法人)、社会福祉法人を対象に、資格条件を満たした団体に対して、アドビシステムズ株式会社、株式会社シマンテック、マイクロソフト株式会社などのソフトウェアを市場価格のわずか4～8%の事務手数料で寄贈します。

■DATA

特定非営利活動法人日本NPOセンター
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル245
TEL: 03-3510-0855 FAX: 03-3510-0856 <http://www.jpncoc.ne.jp>



話

特定非営利活動法人 元気な仲間(高島)

代表の谷さんは、こんにやく屋「谷仙商店」の三代目。平成十三年、こんにやく屋のお得意先に『ヘルパー二級を一緒に受けよう』と誘われたのが、いまの活動を始めたきっかけです。ヘルパー二級で福祉について学ぶ中で、地域で支えていくまちづくりの大切さに気づき、平成十五年八月八日、末広がりの大安の日に「NPO法人元気な仲間」を設立。旧高島郡で五番目、旧新旭町で第一号のNPO法人として活動をスタートしました。

活動の拠点となっている建物は、築約六十年となる谷さんの祖母の親元の家と織維工場。古民家の味わいを残したまま、懐かしい空気感漂うほっとする空間です。



▲「元気な仲間」スタッフのみなさん

ここで介護保険事業として「民家改修型デイサービス」、協働するまちづくりの拠点「あったかほむ」、買い物支援事業、生きがいデイサービス、「新旭学童保育所トライアングル、ひだまり」、「移送サービス(福祉有償運送)」を行っています。また、設立時から思いをあ

特定非営利活動法人
元気な仲間
代表●谷仙一郎
設立●2004年 会員●15名
連絡先●高島市新旭町針江291
TEL: 0740-25-8360
FAX: 0740-25-8370
E-mail: info@npo-genki.com



▲学童保育所の子どもたち

みんなが元気で、みんなが仲間なまちづくり

輪

NPOの

わっ

和

話

地域や社会を良くしていきたいとがんばっている市民活動・NPOを紹介します。興味を持たれた団体に連絡してみませんか？

おうみネットを一緒に作りませんか？

おうみネットサポーターを随時募集しています。興味のある方はセンターまでお問い合わせください。

このコーナーは「おうみネット」発行をサポートする「おうみネットサポーター」が市民活動団体・NPOの情報提供から取材・執筆までを行っています。

話



●「元気な仲間」が開催する、まかせてサポーター養成講座の様子

輪



●「SHIPS」のクリスマス風景。子どもたちの目が輝いています。国籍を超えて、心と心が結ばれた瞬間です。

和



●「安心すぎる米づくり」が体験できる「鹿深の杜のTANBO」。

和

特定非営利活動法人 環境と農業の融合を考える会 「鹿深の杜」(甲賀)

環境×農業で地域を豊かに！

「鹿深の杜」は「環境と農業の融合を考える」をコンセプトに二〇〇七年から甲賀市水口町で活動しています。NPOの母体は株式会社テクノス。家庭で出る生ごみを堆肥化し、リサイクルできる「生ゴミ循環エコロジーシステム」を実現しています。「鹿深の杜」は企業の強みである環境保全の機能を活かし、地域の環境と農業の融合を図ろうとされているのです。企業から出る生ごみの堆肥化で農産物をつくり、地域で消費する。生ごみの地産地消のサイクルになっていくわけです。

今年からは生ごみ堆肥を使った「安心すぎる米づくり」が体験できる「鹿深の杜のTANBO」オーナー制度が開始。田植えだ

けでなく、「信楽焼」で有名な甲賀市で「みや茶碗」づくりに挑戦できるなど、ユニークな催しを行っています。事務局長の墨田利晃さんは「地元農家の方とも一緒に、地域の密着になれます。子どもに食物を



▲エコキャンドル

育てる経験があれば、食育につながります。また、社会福祉事業団と連携し知的障がいを持つ方たちがオブジェをつくり、道の駅やパーキングエリアでPRする活動もされています。

今後は工場などで捨てられる廃材を利用し、ログハウスを建てるという夢を墨田さんに語っていただきました。リタイアした世代で環境や農業に興味のある人たちを引き込んだ「憩いの場」づくりとしてログハウス、また他にもさまざまな夢を持っておられました。地域や人との交流を通して、環境と農業、そして福祉にも力を入れた活動をこれからも期待しています！

(おうみネットサポーター 吉田遊介)

特定非営利活動法人 環境と農業の融合を考える会「鹿深の杜」

代表●立岡 坦 設立●2007年
 会員●60名 法人：20名
 連絡先●甲賀市水口町松尾502-18
 TEL：0748-62-1950 FAX：0748-63-1960
 E-mail：master@kafukanomori.com
 URL：http://kafukanomori.com/index.html



▲「安心すぎる米づくり」が体験できる「鹿深の杜のTANBO」。

輪

SHIPS・多文化共生支援センター(草津)

『三つのこころ』で…人と人をつなぎます！ 『居場所づくり』から、『自立』の支えを目指して！

一昨年末、世界中を襲った経済不況。その渦中であって、ことばの壁をはじめ就労に至るまでの「負の連鎖」にあえいでいる多くの外国籍の人々への支援が、今日本社会に求められています。その支援活動の先頭になって、今最も輝き、最もリアルにがんばっている人々。それが「SHIPS」の皆さんです。

まずは、「SHIPS」が掲げる理念・「三つのこころ(Ship)」から紹介しましょう。それは、・Friend(友情)・Culture(文化)・Partner(協力)。まさしく「三つのこころ」で「人と人をつなぐ」熱い想いが込められています。その設立の経緯は二年前にさかのぼ



▲スタッフのみなさん。明るい笑顔と温かい心が、みなさんを待っています。

り、そして、その源流を辿ると、「近江渡来人倶楽部」に行き着きます。河柄俊代表と喜久川修事務局長。二人のよきパートナーコンビが生み出した次へのステップ・アツプ・プラン。それが、「SHIPS」でした。「オールドカマー」から「ニューカマー」へと支援対象の重点を転換し、活動を進化(深化)・発展させることの必要性を痛感さ

れていた措置でした。「リーマン・ショック」発生の六か月前のことです。お二人の社会の潮流を見据えた高い見識に基づく見事な先見性・洞察力には、感嘆させられます。

最初は、外国籍の人たちへの居場所づくりからのスタートでした。今では、ことばの学習活動から生活支援まで…。スタッフも三人から十人に増えました。うち七人は市・県からの支援で、生活相談、語学指導など活動の幅が広がりました。ここにも行政との協働という確かな前進を感じ取れます。今、喜久川事務局長が最も力を入れており頭を悩ませているのが就労問題。そこで、「SHIPS」の次の一手が、彼ら自身による起業支援です。「SHIPS」は、あくまでも、究極の支援、「自立」の支えを目指しているのです。

(おうみネットサポーター 荒木 威)

SHIPS・多文化共生支援センター

代表●河柄俊 設立●2008年
 スタッフ●10人
 連絡先●草津市草津1丁目13-12
 事務局長：喜久川修
 TEL：077-561-5110
 FAX：077-565-6311
 E-mail：info@s-h-i-p-s.org



▲「SHIPS」の事務所。多くの出会い・友情が生まれる、みなさんの「居場所」です。



第1回協働サロンのお知らせ 「新しい地域づくりの担い手と考える 全国の地域づくりの潮流と これからの観光」

より魅力的で個性的な地域づくりは、地域の多様な人を巻き込み、地域外の多様なネットワークと連携し、解決策を見つけ出していくことで大きく展開していきます。そういう意味で、観光は地域づくりにおいて重要な位置をしめています。今回は、県内外の観光や宿泊に携わっている方々や地域づくりに取り組んでいる市民活動団体、地縁組織等の関係者にお集まりいただき、「これからの観光」に関して議論を深め、協働の接点を探ります。

日時●7月10日(土) 14:00～16:30
 場所●県民交流センター 204会議室
 対象者●県内外の観光や宿泊に携わっている方々、地域づくりに取り組んで体験プログラムをもって活動している市民活動団体
 持ち物●名刺、活動パンフレット、1000円(資料・茶菓子代含む)

第2回協働サロンのお知らせ 「寄付・遺贈の受け入れについて 考える」学習会

日時●7月23日(金) 18:30～
 会場●県民交流センター 206会議室

「おうみNPO活動基金」にご寄付いただきました！

いただいたご寄付は、当財団の「おうみNPO活動基金」の原資に加え、県内のNPOが取り組む活動への支援に活用いたします。ありがとうございました。

●オムロン株式会社草津事業所様
 ………………179,368円
 社員のエコ活動とボランティア活動をポイント化し、地域でボランティア活動な

どをする団体を支援するためにご寄付いただきました。

●全日本不動産協会滋賀県本部
 ………………300,000円
 創立20周年を記念して、地域を良くしようと活動に取り組むNPO、ボランティア団体の支援のためにご寄付いただきました。

ホームページ、メルマガでの市民活動情報掲載のご案内

当センターのホームページ、メルマガでは、みなさんから寄せられた市民活動情報を掲載しています。市民活動情報掲載につきまして、ご希望の方は、当センターの以下のメールアドレスまで掲載したい内容をお寄せ下さい。

●淡海ネットワークセンターメールアドレス office@ohmi-net.com
 ※掲載料は無料ですが、寄せられた情報が多い場合は、こちらの方で選択させていただきます。

「びわ湖市民活動応援助成事業」スタート

- ◇締め切り／7月31日(土) 17時必着
- ◇相談会を開催します。
 7月14日(水) 18:30～20:30 淡海ネットワークセンター 5団体程度
 7月16日(金) 18:30～20:30 米原公民館 5団体程度
- ◇公開プレゼンテーション
 9月11日(土)午前 コラボしが21

淡海ネットワークセンター

(財)淡海文化振興財団

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階

TEL 077-524-8440 FAX 077-524-8442

http://www.ohmi-net.com

E-mail:office@ohmi-net.com

開館時間／9:00～17:00 休館日／月曜日・祝日

●情報交流誌「おうみネット」は次のところに配布しています。

県内図書館、琵琶湖博物館、男女共同参画センター、文化産業交流会館、陶芸の森、草津市立まちづくりセンター、県社協ボランティアセンター、大津市生涯学習センター、栗東芸術文化会館さくら、滋賀銀行、京都信用金庫、関西アバン銀行、滋賀県信用組合、公民館、各地域環境総合事務所、県情報室など

編集後記

● 構想から7年。機が熟したすけあい高島事業がスタートしました。助けを必要とする人々と、自分のできる範囲で助けを提供できる人たちの結び役として、大きな期待が寄せられています。元気な仲間の元気なスタッフの頑張りを応援したいと心から思った取材となりました。(おうみネットサポーター 平松成美)

● 究極の多文化共生支援…それは、彼ら自身の「自立」を支えること。日々、進化(深化)する[SHIPS]の活動理念に全く同感です。取材活動を通じて、相通じ合える想いを強くすることができました。そして、大きな勇気をいただきました。(おうみネットサポーター 荒木 威)

● “環境”と“農業”。現代の日本社会でタイムリーな組み合わせだと感じました。運営でご苦労されているようですが、お話を聞いた墨田さんのユニークで素敵な発想や夢は、学ばせて頂くことが多かったです。(おうみネットサポーター 吉田遊介)

● 私は今回おうみネットの編集を務めさせていただきました。初めてということでスムーズにいかないことがありましたが、おうみネットサポーターや仲間のサポートもあり、なんとか形にすることができました。今後とも、どうぞよろしくお願致します。(淡海ネットワークセンタースタッフ 藤吹恵音)

市民活動・人・企業との出会い広がる情報交流誌 「おうみネット」 掲載広告募集中!

- ★発行部数10,000部
- ★県内外の配布先約1,900カ所
- ★1枠(横9.3cm×縦3.5cm)15,000円



詳細は、当センターまでお問い合わせください!

つながる、生まれる、 地域の絆

京都信用金庫は人と人、企業と企業の絆を育む…そんなコミュニティバンクを目指し努力してまいります。



ひろがる滋賀のネットワーク

- | | | | | |
|------|-------|------|-------|--------|
| 滋賀支店 | 瀬田支店 | 堅田支店 | 南草津支店 | 栗東支店 |
| 膳所支店 | 大津支店 | 小野支店 | 草津西支店 | 滋賀ロケット |
| 石山支店 | 西大津支店 | 草津支店 | 守山支店 | |



労福協が勤労者のくらしにかかるあれこれをサポート! くらしサポートセンターしが



〒520-0806
 大津市打出浜 2-1 コラボしが 21 6階
 (社)滋賀県労働者福祉協議会内

- ♥困った時はお電話を! くらしなんでも相談 TEL: 077-522-4600
- ♥多重債務相談(毎月第3日曜日)要予約 TEL: 077-522-4600
- ♥勤労者の子育て支援 緊急サポートネットしが TEL: 077-524-2233
- ♥ボランティア活動を支援 勤労者ボランティアセンター

